

学校いじめ防止基本方針

西尾市立平坂中学校

1 いじめの防止についての基本的な考え方

いじめは、いじめられた生徒の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為である。また、どの生徒も被害者にも加害者にもなりうる。これらの基本的な考えを基に教職員が日頃からささいな兆候を見逃さないように努めるとともに、学校全体で組織的に対応していく。

何より学校は、生徒が教職員や周囲の友人との信頼関係の中で、安心・安全に生活できる場でなくてはならない。生徒一人一人が大切にされているという実感をもつとともに、互いに認め合える人間関係をつくり、集団の一員としての自覚と自信を身に付けることができる学校づくりに取り組んでいく。そうした中で、生徒が自己肯定感や自己有用感を育み、仲間と共に人間的に成長できる魅力ある学校づくりを進める。

2 いじめ防止対策組織

「いじめ・不登校・問題行動対策委員会」を設置し、いじめのささいな兆候や懸念、生徒や保護者からの訴えを、特定の教員が抱え込むことのないよう、組織として対応する。

校長、教頭、事務長、教務主任、校務主任、学年主任、生徒指導主事、保健主事、養護教諭等で構成し、必要に応じて、スクールカウンセラー、生徒指導アドバイザー等を加える。

(1) 「いじめ防止対策組織」の役割

ア 「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組の実施と進捗状況の確認

- ・学校評価アンケートを行い、学校におけるいじめ防止対策の検証を行い、改善策を検討していく。

イ 教職員への共通理解と意識啓発

- ・年度初めの職員会議で「学校いじめ防止基本方針」の周知を図り、教職員の共通理解を図る。
- ・対策委員会や職員会等で、日ごろから気になる生徒について情報共有に努め、指導方針や指導方法等の共通理解を図る。
- ・生活アンケートや教育相談の結果の集約、分析、対策の検討を行い、実効あるいじめ防止対策に努める。

ウ 生徒や保護者、地域に対する情報発信と意識啓発

- ・随時、学校だより等を通して、いじめ防止の取組状況や学校評価結果等を発信する。

エ いじめに対する措置（いじめ事案への対応）

- ・いじめがあった場合、あるいはいじめの疑いがあるとの情報があった場合は、正確な事実の把握に努め、問題の解消にむけた指導・支援体制を組織する。
- ・事案への対応については、適切なメンバー構成を検討し、迅速かつ効果的に対応する。また、必要に応じて、外部の専門家、関係機関と連携して対応する。
- ・問題が解消したと判断した場合も、その後の生徒の様子を見守り、継続的な指導・支援を行う。

3 いじめの防止等に関する具体的な取組

(1) いじめの未然防止の取組

- ア 生徒どうしの関わりを大切にし、互いに認め合い、共に成長していく学級づくりを進める。
- イ 生徒の活動や努力を認め、自己肯定感を育む授業づくりに努める。
- ウ 教育活動全体を通して、道徳教育・人権教育の充実を図るとともに、体験活動を推進し、命の大切さ、相手を思いやる心の醸成を図る。
- エ 情報モラル教育を推進し、生徒がネットの正しい利用とマナーについての理解を深め、ネットいじめの加害者、被害者とならないよう継続的に指導する。
- オ 「西尾市の学校総点検の日」には、生徒一人一人のより的確な現状把握に努め、いじめ問題に対する意識の高揚を図る。

(2) いじめの早期発見の取組

- ア 生徒の様子を観察したり、会話や日記等の内容を把握したりする中で、気になる行動について、学年会や職員会、対策委員会等で情報交換する。
- イ 生活アンケート（年2回）や教育相談を定期的に実施し、生徒や保護者から情報を収集し、小さなサインを見逃さないように努める。
- ウ 教師と生徒との温かい人間関係づくりや、保護者との信頼関係づくりに努め、いじめ等について相談しやすい環境を整える。
- エ 生徒指導会（毎週火曜日の2時間目、各学年生徒室担当、生徒指導アドバイザー）を開き、各学年の生徒の生活の様子などを把握し、情報を共有するとともに、いじめにつながる言動を見逃さないように努める。
- オ 不登校対策委員会（毎週月曜日6時間目、四役、学年主任3名、保健指導主事、生徒指導主事、S C、養護教諭）を開き、各学年の生徒の生活の様子などを把握し、情報を共有するとともに、いじめにつながる言動を見逃さないように努める。
- カ 心の相談委員会（学期に1回、保健主事、生徒指導主事、養護教諭、生徒指導アドバイザー、教育アシスタント、主任児童委員3名）を開き、各学年の生徒の生活の様子などを把握し、情報を共有するとともに、いじめにつながる言動を見逃さないように努める。
- キ いじめ相談電話等、外部の相談機関を紹介し、生徒が相談しやすい環境を整える。

(3) いじめに対する措置

- ア いじめの発見・通報を受けたら「いじめ・不登校・問題行動対策委員会」を中心組織的に対応する。
- イ 被害生徒を守り通すという姿勢で対応する。
- ウ 加害生徒には教育的配慮のもと、毅然とした姿勢で指導や支援を行う。
- エ 教職員の共通理解、保護者の協力、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー等の専門家や、警察署、児童相談所等の関係機関との連携のもとで取り組む。
- オ いじめが起きた集団へのはたらきかけを行い、いじめを見過ごさない、生み出さない集団づくりを行う。
- カ ネット上のいじめへの対応については、必要に応じて警察署や法務局等とも連携して行う。

4 重大事態への対応

- (1) 重大事態が生じた場合は、速やかに市教育委員会に報告をし、《重大事態対応フロー図》に基づいて対応する。
- (2) 学校が事実に関する調査を実施する場合は、「いじめ・不登校・問題行動対策委員会」を開催し、事案に応じて適切な専門家を加えるなどして対応する。
- (3) 調査結果については、被害生徒、保護者に対して適切に情報を提供する。

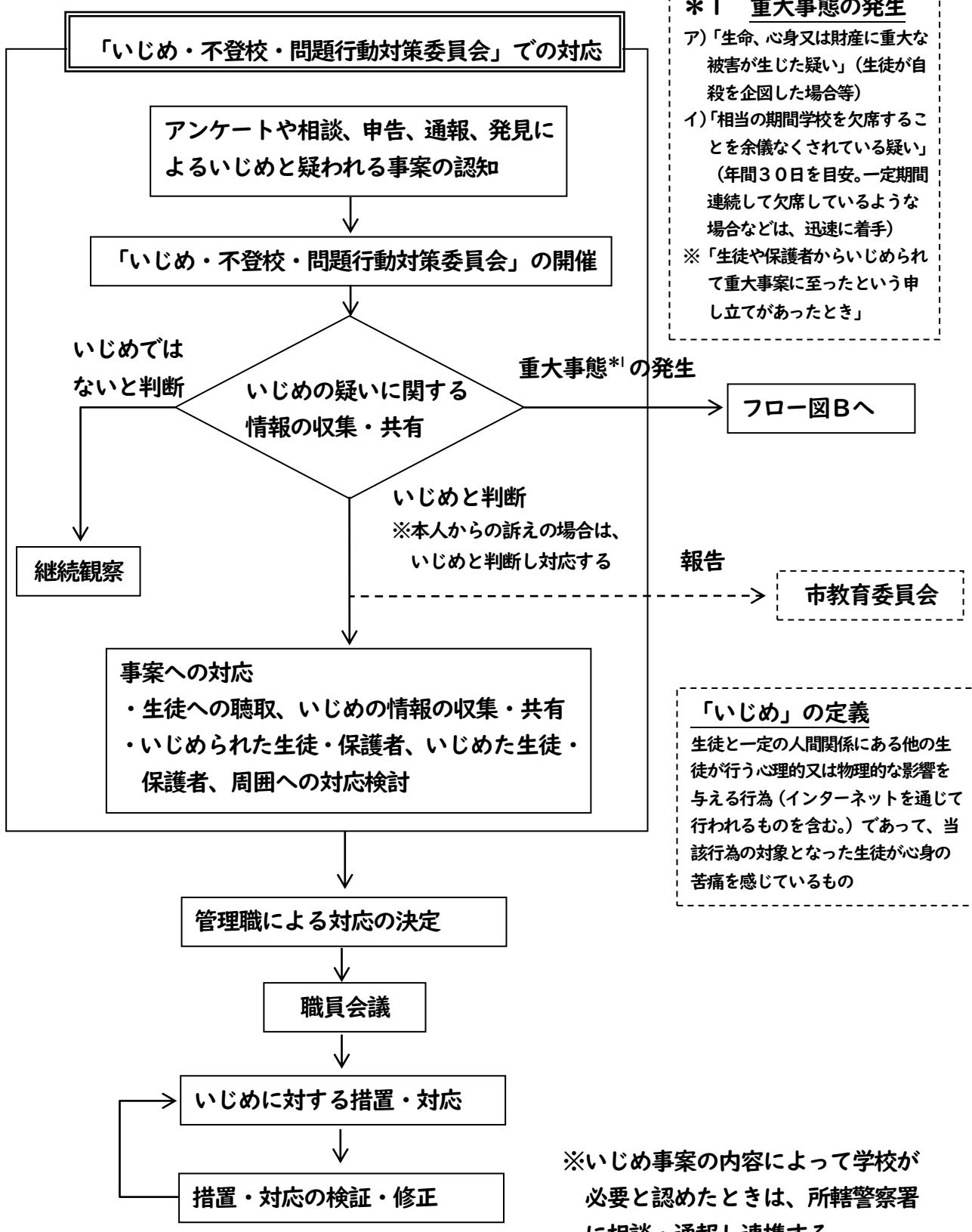
5 学校の取組に対する検証・見直し

- (1) 学校いじめ防止基本方針をはじめとするいじめ防止の取組については、P D C A サイクル (P L A N → D O → C H E C K → A C T I O N) で見直し、実効性のある取組となるよう、努める。
- (2) いじめに関する項目を盛り込んだ教職員による取組評価及び保護者への学校評価アンケートを年に1回実施（12月）し、いじめ・不登校・問題行動対策委員会でいじめに関する取組の検証を行う。

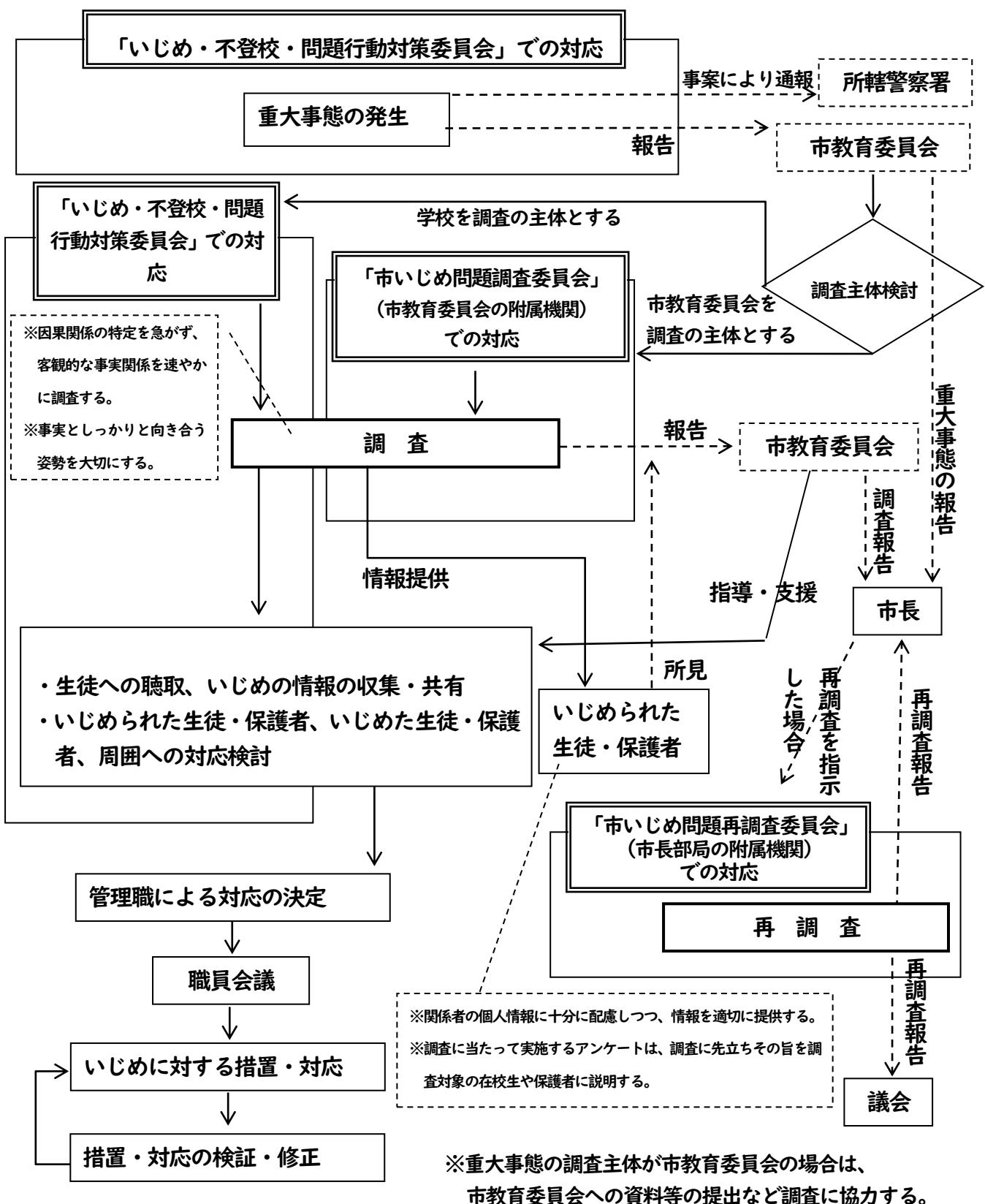
6 その他

- (1) いじめ防止に関する校内研修を年2回計画し、生徒理解やいじめ対応に関する教職員の資質向上に努める。
- (2) 「学校いじめ防止基本方針」は、ホームページに掲載する。
- (3) 長期休業中の事前・事後指導を行い、休業中のいじめ防止に取り組む。

いじめ事案への対応フロー図 A



いじめ事案への対応フロー図 B



<参考資料 取組の年間計画>

	「いじめ・不登校・問題行動対策委員会」	未然防止の取組	早期発見の取組	保護者・地域との連携
4月	P ↓ D ↓ C ↓ A ↓ P ↓ D ↓ C ↓ A ↓ P ~	○「学校いじめ防止基本方針」の内容の確認 ○相談室やSCの生徒、保護者への周知 ○学級開き、学年開き	○いじめ相談窓口の生徒、保護者への周知 ○身体測定	○SCとの情報引継ぎ会 ○「学校いじめ防止基本方針」の周知
5月		○オリエンテーション集会（1年） ○保健集会（1年） ○修学旅行（3年） ○スマホ・ケータイ安全教室		○平坂中校区交推協・生推協総会
6月		○現職研修①「生徒理解と学級づくり」 ○自殺防止教育（道徳授業）	○「生活アンケート（いじめアンケート）」 ○教育相談週間	○授業参観、部活動参観 ○生徒指導懇談会 ○保護司との懇談会 ○PTA挨拶運動
7月		○中間評価→検証（生活アンケート） 【学校保健委員会】 ○保健集会（3年）		○個別懇談会 ○街頭指導 ○SCとの情報交換会
8月		○不登校研修会 ○人権作文（3年）		○SCとの情報交換会 ○街頭指導
9月		○体育祭応援合戦 ○職場体験学習（2年） ○スタディツア（1年）	○身体測定 ○教育相談週間	○環境整備作業 ○PTA挨拶運動 ○平坂中校区交通安全・非行防止・防犯推進大会
10月				
11月		○学校総点検日 ○現職研修② ○合唱コンクール	○「生活アンケート（いじめアンケート）」 ○教育相談週間	○授業参観 ○PTA挨拶運動
12月		○取組評価アンケートの実施、検証（全職員） ○人権週間（道徳授業） ○保健集会（2年、性教育）		○個別懇談会 ○学校評価アンケート
1月			○身体測定 ○教育相談週間	○PTA挨拶運動
2月		○不登校研修会 ○自己評価 ○から歩き（2年） ○小学校への入学説明会（教務主任、生徒指導主任） ○卒業生を送る会		○家庭福祉懇談会 ○保護司との懇談会
3月		○「学校いじめ防止基本方針」の見直し ○小学校との情報交換会 ○新入生の学級編成		○個別懇談会 ○学校関係者評価委員会で「自己評価」の評価
通年		○校内のいじめに関する情報の収集ならびに該当生徒についての共通理解 ○対応策の検討 ○集会における校長講話 ○道徳教育、体験活動の充実 ○わかる授業の充実	○健康観察の実施 ○SCによる相談 ○生活記録ノート（ライフ） ○3S運動（月に数回） ○不登校・問題行動の情報交換（職員会後） ○学年別「いじめ・不登校対策委員会」（毎学期1回）	

*いじめが発生した場合の対応については、関係する職員で共通理解を図りながら、対応していく。